

パブリックコメントに寄せられたご意見など

パブリックコメント実施期間：令和5年1月6日（金）～令和5年2月6日（月）

日付	区分	ご意見	回答
2023/1/23	第3章 長野県全体の「生活排水対策構想」 バイオマス利活用プラン2022 (27ページ～)	「バイオマス利活用プラン2015」と内容はほとんど変わっていない。広域協議会の開催数やその結果など、7年間の成果を記載して欲しい。ただタイムスケジュールが先延ばしされただけであり、長野県が何をきて、何をしたいのかわからない。	前回の構想策定(平成27年度)以降、広域連絡協議会等をのべ30回開催し、関係機関において構想進捗を図る上での課題等について議論や情報共有を行いました。その結果、汚泥の高い有効活用や広域化共同化が進捗し、県内において利活用される汚泥の割合が92%から95%へ向上しており、その状況を第2章の「3生活排水から発生する汚泥（バイオマス）の利活用」に記載しています。 引き続き、市町村等と協働して、汚泥等のバイオマス資源の有効な利活用を進めていきたいと考えています。
		下水道汚泥はほとんどが県外のセメント工場に運ばれていると聞いている。今後、燃料も下がる見込みは無いことから、長野県としてその処理方法を検討すべきではないか。例えば、流域下水としてその処理方法を検討すべきではないか。例えば、流域下水道ですべての汚泥を引き受け、焼却してから灰として県外搬出するなど、具体的な記載を希望する。長野県が推進しているゼロカーボンの視点からも必要な施策ではないか。	ご指摘のありました、流域下水道事務所における汚泥集約処理は、効率性やコスト、処理場での施設能力等を考慮して可能な範囲で進めているところですが、より効率的な処分ができるよう、地域ごとの実情を考慮の上、集約処理や共同化を含め、効率的な処理体制について引き続き検討を行ってまいります。
2023/1/29	第4章 長野地域ブロック構想 (4-9-B9ページ)	長野市において、若穂地区から農集排汚泥が排出されるのでしょうか。そもそも若穂・松代・川中島に農業集落排水施設は、ないではありませんか。	ご指摘のとおり、記載内容に誤りがありましたので、4-9-B9ページのフローから農集排汚泥(若穂)を削除し、農集排汚泥(篠ノ井・松代・川中島)のうち松代・川中島を削除します。
		坂城町の記載がないのですが、坂城町からは浄化槽汚泥・し尿は排出されないのでしょうか。	ご指摘のとおり、坂城町内における浄化槽汚泥及びし尿について記載が漏れていましたので、4-9-B9ページに追記します。